



きよさとっ子

運動会→清里っ子スポーツフェスティバル

校長 齋藤 伸夫

先月号でお知らせしたように、今年度の学校経営方針キャッチフレーズは「『継承』と『創造』、『着実』と『冒険』」です。当然、各教育活動にも反映していきます（12日に開催された学校運営協議会でも、この方針について承認いただきました）。



5月21日（土）の「清里っ子スポーツフェスティバル」は、従来「運動会」と呼んでいた行事を、「本当に子どもの学びとつながるものになっているか」という視点で再検討し、改めて創造した行事です。最も着目したのは、「競争」「勝敗」に重点が偏りすぎていないかということでした。

本来、体育で育てるべき「運動の楽しさ」は実に多様です。

- ・体を動かすことそのものの楽しさ（気持ちよさ） ・運動そのものがもつ楽しさ
- ・目標、記録達成の楽しさ ・競い合う楽しさ ・体力向上の楽しさ
- ・上達する（技を身に付ける・技を磨く）楽しさ ・交流する楽しさ
- *練習（工夫）する楽しさ・観る楽しさ *表現を探求する楽しさ など

これらの楽しさを味わう、学ぶことで生涯にわたって運動に親しむ態度を育てることが求められています。従来型の運動会でよく見られた「競い合う楽しさ」も、もちろん重要な要素です。一概に否定はしません。ただ、そこだけが前面に出るような行事にはしたくないと考えました。特に「知的欲求の充足につながる楽しさ（表中の*）」を日常の学習、そして行事の中で具現化を図ることを意識したことが今回の「創造」の原点です。

そこで、種目内容も「子どもが自身の意欲や関心、運動レベルに応じて選択できる」「日常の学習で培った技能や態度を生かせる」「自身の体力・技能の向上を目指して、当日までに学習できる」などの視点で設定しました。また、「運動に励む仲間にはみんなで応援を」という考え方から赤組・白組制もなくしました。

もちろん、今までの運動会と何から何まで変わるものではありません。今までの内容で今回の趣旨に合う部分は「継承」しながらの「創造」です。ですので、見に来ていただいた方からは「今までと同じだ」との感想が出るかもしれません。これから次代に向けて進化している最中だとご理解いただければ幸いです。

「コロナ禍だからできない」と言える時期は過ぎました。これからは、「コロナ禍でもできる」内容と方法の創造、そして本来の学校教育の意義に焦点化した取組の工夫で清里小の教育の質向上を目指します。今後も、保護者・地域の皆様からのご理解・ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。



リレーの作戦を話し合う下学年



4月、5月のトピック～ホームページ随時更新中～

4月 22日 交通安全教室 1・2年生は学校周辺で安全な歩行の仕方、3・4年生は体育館で自転車教室を行い、命を守る正しい行動を学びました。地域での見守りをよろしくお願いします。 		5月6日 苗の買い出し、植え付け 2年生は野菜の苗を買いに行き、先日の奉仕作業で整えていただいた畑に植えました。育てる野菜を自分で決めたことに価値があります。とても大切に植えていました。
5月10日 稲文字学校田植え 多くの協力を得て、4・5・6年生で稲文字学校田に「夢」の文字を形取って田植えを行いました。5年生の「夢」の文字への熱い願いを共有できた、和やかな時間でした。 		5月12日 小・中学校合同運営協議会 次代を担う児童生徒の健やかな成長に学校、家庭、地域が連携すること、区の行事等の活動に児童生徒が参画することなど、有意義な話合いが行われました。
5月 11日 正善寺浄水場見学 安全な水が毎日いつでも飲めるのはなぜか?「見たい、知りたい」の強い気持ちが、身を乗り出して説明を聞きメモを取る、進んで質問する姿に表れていた4年生でした。 		

「メディアにこにこ週間」で規則正しい生活習慣を



「メディアにこにこ週間」の1回目が終わりました。「我が家の中のメディアルール」をつくり、睡眠、食事、学習、メディア視聴の時間を意識し、全員が取り組みました。2学期以降は保育園や中学校とも連携予定です。家族や地域全体の元気アップにつながるよう、引き続きご協力をお願いします。

子育ての悩みを相談しませんか ~1階視聴覚室へどうぞ~



水曜日 13:00~16:00 は、隔週で学校訪問カウンセラーの閨間先生が来校し、児童、保護者へのカウンセリングや相談を行います。悩んでいることを抱え込まずに相談することで解決への糸口が見えてきます。秘密は固く守られますので、安心しておいでください。ご希望の方は、担当の山岸養護教諭または学級担任に連絡してください。 (学校 528-4634)